

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目	英語
<p>問1 次の英文を全訳しなさい。</p> <p style="text-align: center;">この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	



2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目	英語
<p>問2</p> <p>次の英文を日本語に訳しなさい。</p> <p style="text-align: center;">この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目	英語
<p>この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目	英語
<p>この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	
<p>出典 Wendy Brown (2023) <i>Nihilistic Times: Thinking with Max Weber</i>, Cambridge, Massachusetts: Belknap Press.</p>	

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目

中国語

以下の現代漢語文は、吴瑶「论当事人主义在我国环境民事诉讼中的适用」江淮论坛 2021年5期から抜粋し、出題用に編集をくわえたものである。全文を日本語訳せよ。

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

2025年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻  
入学試験問題

試験科目

日本語

別紙の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

問1 空欄  に入る言葉として、最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 物権的価値 ② 金銭的価値 ③ 文化的価値 ④ 倫理的価値

問2 空欄  に入る最も適切な言葉を書きなさい。

問3 下線部㉑について、日本国憲法第29条第3項が「私有財産」という言葉を用いている理由として、著者が論じていることを説明しなさい。

問4 下線部㉒について、「西欧語において財産権と所有権が同一の言葉で表現されることが多い」のに対して、日本語では、なぜ、異なる言葉が用いられるようになったのか。著者の考えを述べなさい。

問5 下線部㉓について、「広義の Eigentum と狭義のそれ」の意味するところを明確にしたうえで、著者が述べようとしていることの趣旨を詳しく論じなさい。

日本語

別紙・合計 2 枚

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、  
著作権の都合により公開いたしません。

出典：石井紫郎『日本人の法生活』（東京大学出版会、2012年）115-117頁。出題の都合上、  
注を削除し、一部を改変した。